

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 (4期連続トップ当選)

<編集発行>

〒194-0011 町田市
成瀬が丘 1-14-12
サンホワイト E103-13
自宅 042-795-7361
FAX 042-795-2726
yoshidaben@gmail.com



会派全員で予算修正案を提案

令和4年度第一定例会において、工芸美術館建設に異議を唱え、当初予算の修正案(3名以上必要)を会派全員で提案しました。会派名「無所属」は、代表:松岡みゆき議員ですが、提案理由説明は、この問題に中心的に取りくんできた新井よしなお議員が行いました。

行政予算案に、設計が中断している段階で工芸美術館の予算は認められないとするもので、歳入・歳出ともに減額する趣旨を記載し、東京都の補助金も減額修正を求めた内容も含まれています。当然、その整備費の減額を入れてだけでなく、芹が谷公園”芸術の杜”パークミュージアム整備事業の削除も求めています。財政調整基金の繰り入れも当該分の減額を求めたもので、予算修正案として大掛かりなものでした。なお、通常、改選直後の予算案には政策案件は盛り込まない原則です。

表決では、明らかに工芸美術館予算に問題ありとしながら、それを削除する修正案に反対意見が出たり、修正案に賛意を示しつつ、退席者が出たり、あるいは他の会派で一人だけ、無所属会派が提出した修正案に賛成者が出たり、現行の版画美術館を分断した構造で建設を見込む、この工芸美術館の予算提案は、煮詰まっていない印象を醸し出しました。



本会議質疑(多摩線延伸)

定例会の本会議質疑(一般質問と異なり、自分の意見は述べない)では、小田急多摩線延伸促進事業の進捗状況と展望を尋ねました。

令和元年第2回定例会において、その進捗状況を尋ねた時には、相模原市と結んだ覚書の通り、2027年までに小田急多摩線延伸(上溝、相模原、小山田の新駅整備を前提に)の実現に目指した取り組みを進めるという方針変更は無いというものでしたが、鉄道建設と言う大掛かりな工事が一気にできるわけがない、非現実的な趣旨の答弁をしていました。



今期の関係予算に関する本会議質疑では、相模原市、町田市、小田急の関係者会議の調査のまとめに「開業想定年次が令和15年(2033年)」と書かれていると重ねて尋ねると、以前の「覚書」の発想は修正され、2027年度まで、延伸区間の採算性などを検討するという方針に切り替わっていることが判明しました。それも、当初の説明では相模原市が一方的に時期を決めたかのような表現でしたが、上記の関係者会議において、町田市を含めた全部の当事者がその新規方針を容認したものであることが判明しました。なぜ、事態を正しく説明しないのか、相模原市との信頼性構築の面でも疑問が起きる内容でした。

◎所属会派の名称はシンプルに「無所属」とし、3名の議員で構成しています。

○支持政党なしの方々の代表=吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

●吉田つとむは令和4年2月、市議会議員選挙4期連続のトップ当選となっています

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(4期連続トップ当選)

吉田つとむ



ブログ 個人HP



メールは
左記を読込
して送信



好評インターンシップは、ただ今、第49期生が参加中

インターン体験記②岡本麻鈴

私は今回町田市立国際版画美術館で開催されている「江戸の滑稽」という展示を見に行きました。この展示では漫画『のらくろ』の作者・田川水泡が収集したコレクションを中心に、幕末から明治へ変わる激動の時代の情勢やその時代を生きる人々の感情を無数の絵師たちがユーモラスに描かれている浮世絵の戯画や風刺画、大津絵などの約140点が展示してあります。

この作品には、怪談・皿屋敷に登場するお菊が井戸から現れ瀬戸物修理をする焼き接ぎ屋に割れたお皿の修理を頼む場面と、かつては、夜になると蛸が海から上がって芋畑を食い荒らすと信じられていたことから農夫と大蛸が芋を取り合っているところが描かれています。こういった恐ろしい怪談や迷信を戯画として表すことでコミカルな内容になる所が面白いと感じました。

他にも地震の元凶とされる鯰を、震災後の世直しの願望を込めて「鯰絵」として表したり、昔の時代のまだ多くの現象の原因を解明することが出来ない時代ならではの解釈するためにあらゆるものを擬人化しているところも浮世絵の面白い部分です。私は浮世絵に元々興味があったのですがこの展示を見てもっと魅了されてしまいました。



玉川大学
新一年生
岡本麻鈴
(第49期生)

インターン体験記④柳原桃花

今回は、吉田さんの出席する議案説明会を傍聴するために、町田市役所(吉田注:町田市庁舎)へ向かいました。議会の様子を傍聴するのは初めての体験だったので、議会室にいくまでとても緊張していました。傍聴席は本会議場の二階にあり、議場を上から眺める形で傍聴します。真ん中に「説明員」が発言するための演壇があり、その後ろにそれよりも少し背の高い議長が座るための台があります。その周りを取り囲むように議員の席が並んでいて、演壇から見て最後列に吉田さんの席があります。傍聴席には右上にモニターが付いていて、発言者がアップで映されます。議案説明会が終わった後、吉田さんと議場に入り、演壇や議席など拝見させていただき、吉田さんの席にも座らせていただきました。このインターンシップに参加しなければできないような貴重な体験をすることができ、参加してあらためて良かったと思いまし



柳原桃花さんが傍聴席で、長時間の議会傍聴の間に書いた、本会議場の会議風景のスケッチを掲載しました。会議中の撮影は許可を受けたメディアのみ。スケッチは自由です。

専修大学新3年生 柳原 桃花(第49期生)

- ◎ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、2022年3月より49期生がスタート。
- ◎ インターン生に政治活動の参加は一切求めず、あくまで社会勉強・見学のメニューを設定しています。